

競技注意事項

1 規則について

本競技会は2010年度(財)日本陸上競技連盟規則及び本競技会の申し合わせ事項により実施します。

2 出入口、更衣室

- (1) 競技者の出入口は北門及び代々木門入場口とします。競技者受付は南ゲートシャッター前(100mゴール側) 招集所は北門付近(100mスタート側)に設けます。
- (2) 更衣室はA・B・C=男子、D・E・F=女子とします。それぞれ更衣のみ行き、貴重品は各自で管理してください。

3 プログラムについて

- (1) 当日競技者受付にて、ナンバーカードとともにプログラムを配布します。
- (2) プログラムに記載ミス(氏名、フリガナ、学年、所属等)があった場合には、8時15分、または遅くとも出場する競技の90分前までに大会本部に申し出てください。記録確定以後の訂正(賞状及び記録証の訂正を含む)には、一切応じません。
尚、プログラムの記載事項は、申込の際に送信されたデータをそのまま使用しています。
- (3) プログラムは、残部がある場合に限り販売いたします。

4 招集について

- (1) 招集所は、北門(マラソングート)付近に設けます。
- (2) 各種目の招集の時刻は、競技開始時刻を基準として下記のとおりです。

	種 目	組	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	100m	1組~8組	30分前	20分前
		9組~16組	20分前	10分前
		17組~24組	競技開始時刻	10分後
		25組~	10分後	20分後
トラック競技	800m	1組~3組	30分前	20分前
		4組~	20分前	10分前
トラック競技	4×100mR		30分前	20分前
フィールド競技			45分前	30分前

- (3) リレーのオーダー用紙は招集完了時刻の60分前までに競技者係(招集所)に提出してください。
(オーダー用紙は招集所に用意してあります。)
- (4) 競技場への入場、退場及び競技場所への移動は競技役員の誘導に従ってください。

5 ナンバーカードについて

- (1) ナンバーカードは主催者が用意します(東京高体連登録競技者は除く)。胸と背部用に2枚配布します。
- (2) ナンバーカードはそのままの大きさを胸と背に確実につけてください。走高跳に出場する競技者は胸または背のどちらか一方でかまいません。
- (3) トラック競技に出場する競技者は、写真判定用の腰ナンバーカードを貸与しますので、パンツの右側の上部、やや後ろにつけてください。(リレー競技の場合はアンカーだけ腰ナンバーカードを使用します。)なお、腰ナンバーカードは競技終了の都度、フィニッシュ地点付近で競技役員に返却してください。

6 競技について

- (1) 本競技場は全天候舗装のため、スパイクについては競技規則第143条を参照してください。
- (2) トラック競技のレーン順、及びフィールド競技の試技順は、プログラム記載順とします。
- (3) レーンを使用する競技では、競技者の安全のため、フィニッシュライン通過後も自分に割り当てられたレーンを走ってください。
- (4) トラック競技のフィニッシュライン通過後は、南門横の競技者入退場口を出てからスパイクを脱いで、スタンド下回廊を通して更衣室に戻ってください。スタンド下の中央廊下を通るときは必ずスパイクを脱いでください（借りたスリッパは医務室前の備え付けの箱に返却してください）。
- (5) トラック競技は、すべてタイムレースで順位を決定します。
- (6) 小学生、中学生の800mのスタートは、オープンで行います。
- (7) 高校・一般の800mのスタートはセパレートで行います。但し、1つのレーンに2名入ることがあります。
- (8) リレーのスタート用マークは各チームで用意し、レース終了後も必ず各チームで外してください。
- (9) リレーに出場するメンバーのうち少なくとも2人は、そのリレーに登録した競技者でなければなりません。その条件を満たせば、同一団体で、他の種目にエントリーしている競技者を出場させることは可能です。しかし、複数のリレーチームをエントリーしている団体の場合、他のリレーチームに登録している競技者を出場させること（例、Bチームに登録している競技者をAチームで出場させること）はできません。
- (10) 跳躍競技、投てき競技で使用するマークは主催者で用意します。
- (11) 競技で使用する用器具は競技場備え付けのものに限ります。
- (12) 走高跳のバーの上げ方

種別	練習	バーの上げ方							
中学男子	1m30	1m35	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60	1m65	以後3cmずつ
中学女子	1m10	1m15	1m20	1m25	1m30	1m35	1m40	1m45	以後3cmずつ
高校・一般男子	1m45	1m50	1m55	1m60	1m65	1m70	1m75	1m80	以後3cmずつ
高校・一般女子	1m25	1m30	1m35	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60	以後3cmずつ

ただし、出場する競技者との協議により、変更することがあります。

- (13) 走幅跳、砲丸投の試技は3回とします。
- (14) 走幅跳は、1組はAピット、2組はBピットを使用して行います。

7 練習について

練習は国立競技場ランプ下の直走路と砂場、ならびに1～8の回廊（メインスタンド側の千駄ヶ谷門と代々木門の間）の練習エリアを利用してください。なお、投てき競技の練習は、競技開始前に競技役員の指示に従って行ってください。

8 表彰について

各種目1～3位に賞状を授与します。入賞者は、結果発表後、本部（表彰係）で賞状を受領してください。

9 商品名のついた衣類やバッグ類等について

競技場に商品名のついた衣類やバッグ類等を持ち込む場合、以下の規定を守ってください。

- ・ ベスト/レオタード
高さ4cm以内、ロゴ全体では高さ5cm以内、面積30cm²以内の長方形で1カ所。
- ・ トップス、トレーニングウェア上衣、Tシャツ、トレーナー、レインジャケット

高さ4cm以内、ロゴ全体では高さ5cm以内、面積40cm²以内の長方形で1カ所。

- ・ 下半身の衣類・・・高さ4cm以内、面積20cm²以内で1カ所。
- ・ バッグ・・・・・・面積25cm²以内で2カ所まで。

競技役員に指摘された場合は、その指示に従ってください。詳細は、「競技会における広告および展示物に関する規程」を参照してください。

10 その他

- (1) 13時から、「国際スポーツ東京委員会 アスリートとの交流イベント ～室伏広治、聖火台を磨く！～」が行われます。
- (2) 競技中において、競技場内のスタンド下ダッグアウトからの助言（指導）は禁止します。
- (3) 競技運営システムに支障をきたすことがあるため、競技場及びスタンドでのゲーム機の使用は禁止します。
- (4) 競技中の事故については、主催者で応急処置はしますが以後の責任は負いません。
- (5) 盗難防止のため、貴重品は各自で保管してください。また、スタンドでの盗難・置き引きには十分注意してください。
- (6) ゴミ類は必ず自宅まで持ち帰ってください。（競技場及びその周辺、駅などに捨てていかないでください。）
- (7) 記録証は1部300円で発行します。希望者は小会議室・東京陸協事務局庶務係まで申し出てください。
- (8) 当大会はメインスタンドのみの利用となります。バックスタンドには入らないでください。
走幅跳に関するコーチングエリアは、ダッグアウト下に設けます。なお、ダッグアウト下のコーチングエリアの導線については、100mスタート側が入口となります。使用する際は、競技役員及びアナウンスの指示に従ってください。
- (9) 当大会は盗撮を厳しく監視いたします。カメラ、ビデオの撮影は、出場団体・学校と選手の家族を除き、必ず本部で許可を受けてください。不審者と思われる行動の者は通報いたします。
- (10) 火災等発生時は、競技役員の指示に従い、速やかに避難すること。